

腎・膠原病内科（膠原病） 研修で経験が望ましい項目

	<病棟>	日付	回数
A	入院時に一般指示オーダーを行った		
A	検査オーダーを行った		
A	検査結果のアセスメントを行った		
A	静脈採血を行った		
B	静脈採血を3例以上行った		
A	輸液オーダーを行った		
A	静脈ルートを確保した		
A	動脈血ガス分析を行った		
A	中心静脈確保を上級医と行った		
A	血糖コントロールを行った		
A	ステロイドの副作用を説明した		
A	関節所見を評価した		
B	関節所見を評価した（関節痛と付着部痛を区別した）		
A	発熱の鑑別を行った		
B	発熱の鑑別診断を10個以上あげ、それぞれを鑑別した		
A	免疫抑制治療開始前スクリーニングを行った		
A	免疫抑制患者の感染症治療を行った		
A	緊急入院の初期対応を行った		
A	病状説明を上級医と行った		
B	関節レントゲンを上級医と読影した		
	<検討会>		
A	受け持ち症例を提示した		
A	研修最終週に症例報告を行った		
	<外来>		
A	リウマチ膠原病外来に参加した		
B	生物学的製剤実施の指示を出した		

	<経験すべき症例>	日付	回数
	①		

A	全身性エリテマトーデス		
A	皮膚筋炎・多発性筋炎		
A	強皮症		
A	混合性結合織病		
	②		
A	関節リウマチ		
A	成人発症スチル病		
A	血管炎症候群		
A	リウマチ性多発筋痛症		

8W で計 5 例以上が目安（①、②それぞれ 1 例以上）

8W で計 8 例以上が目安（①、②それぞれ 1 例以上）

A 4 週間で経験することが望ましい

B 8 週間で経験することが望ましい